

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年12月12日

【評価実施概要】

事業所番号	1271400226
法人名	有限会社 すこやかさん
事業所名	グループホーム すこやかさん
所在地	千葉県香取市与倉869-1 (電話) 0478-58-0505

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	2007/12/5

【情報提供票より】(平成19年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	14 人, 非常勤 4人, 常勤換算 15 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り	
	2 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有() 円	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	600 円
	夕食	500 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.2 歳	最低	79 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	越川医院・県立佐原病院・大栄病院 株式会社日本ビジネスシステム
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道に面した広い敷地の中に「グループホーム すこやかさん」がある。デイサービスが併設されており駐車場が広く取られている。敷地内には畑があり、季節の作物を入居者と共同で栽培している。畑の前にスペースがあり車椅子の方も見学できるようになっている。施設内は2階まで吹き抜けになっており開放感ある。共有空間のスペースも広くつくられており、ゆったりくつろげるようになってきている。また、広いスペースを活用して歩行訓練も行われている。自由に出入り可能なデッキスペース周辺には花壇があり季節の花が植栽されている。家庭的で明るい雰囲気があり、自由で快適な空間の中で皆が元気に過ごしている。また、施設内には季節の装飾がなされていると共に、写真や作品等がたくさん掲示されており、生活の活気が伝わってくる。居室には顔写真入りの表札があり、誰でも分かりやすいようになっている。食事は栄養士が献立を作成しており、栄養面の配慮がなされた食生活の支援がなされている。地域との交流も積極的に行っており、中学生の体験学習やボランティアの受け入れ及び保育園児の慰問等を通しての行事やレクリエーション活動が行われている。また、外出会や誕生会等の行事も積極的に行っている。家族や併設されているデイサービスの利用者との合同行事も行われており適切な交流が図られている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では、意見箱の設置と入居者のケース記録の様式の改善が課題としてあげられた。課題に対しては、職員全員で検討会議を行い確実に改善を図っている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については職員全員で確認を行い、サービスの見直しと向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 地域の関係者を構成員として定期的に会議を開催し、事業報告や処遇・防災・保健・行事等についての話し合いを行っており、地域の方々の施設理解の向上を図っている。また、意見交換を行い、施設の運営に活かしている。市との共同関係については、認知症研修会の参加や中学生の職業体験及び実習生の受け入れを行い、日頃から連携を図っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 入居者の生活状況については、定期的に写真入の便りや文書で報告している。また、必要に応じて随時連絡を取っており状況報告と意見・要望等の確認を行っている。意見箱や苦情窓口を設置及び家族会の開催により、意見・要望等を汲み取る仕組みはできている。意見・要望等があがった場合は、職員会議で検討して速やかに対応し、適切なサービス提供につなげている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の自治会に加入しており、地域の活動や行事に積極的に参加している。また、地域の方の受け入れも積極的に行っており、施設の活動や行事に参加・協力してもらっている。運営推進会議を通して非常災害時における地域との協力体制もできている。日頃から入居者の家族を含め地域の方々の来訪が多く、地域に根ざした施設運営がなされている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者及び家族の意思と入居者の個性の尊重を主眼とした独自の理念をつくりあげている。		独自の理念に地域密着型サービスとしての役割を目指した内容を付加し、さらなる地域生活の継続支援と地域との関係性の強化を目指していただくことを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念を掲示しており、毎日のミーティング等で確認している。理念が職員に浸透しており、理念に基づいたサービス提供ができるように日々努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入しており、地域の活動や行事に積極的に参加している。また、地域の方の受け入れも積極的に行っており、園児や高校生・地域の方々が慰問やボランティアで来訪し、施設の活動や行事に参加・協力してもらっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果に対しては、職員全員で検討会議を行い確実に改善を図っている。また、自己評価についても職員全員で確認を行い、サービスの向上に努めている。		

【千葉県】グループホームすこやかさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者・家族・市の職員・区長・民生委員・施設職員を構成員として定期的に会議を開催し、事業報告や処遇・防災・保健・行事等についての話し合いを行っており、施設理解の向上に努めている。全入居者が会議に参加しており、昼食やお茶を囲みながら交流を図っているのが特徴的である。また、外部のホテルを会場として家族会・食事会を含めながらの会議も開催している。</p>		

【千葉県】グループホームすこやかさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターが主催する認知症研修会に参加しサービスの質の向上に努めている。その他に中学生の職業体験や認知症研修会の実習生の受け入れを行い、市との連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	2ヶ月に1回「すこやかさんだより」を発行し、施設での活動を写真入で報告している。また、毎月利用料の請求時に毎月の状況報告を文書で報告していると共に、金銭出納帳の写しと領収証も添付している。生活状況に変化が見られたときは随時報告している。職員の移動等については必要に応じて報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見等を汲み取るために意見箱を設置しているが、今のところ投函実績はない。直接意見や要望があがった場合は、職員会議で検討し速やかに対応し、適切なサービス提供につなげている。年に1回家族会を開催しており、意見交換を行っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動等があった場合は入居者に説明して了承を得ていると共に、コミュニケーションをしっかりと取り精神的負担の軽減に努めており、現在まで入居者に対する大きな影響はほとんどない状況である。また、ユニット間での入居者及び職員の交流もあり、良好な人間関係が形成されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は積極的に行っており職員全員が参加している。また、随時職員会議で研修報告を行い内容の共有にも努めている。内部研修では看護師が講師となり医療面の対応強化を図っている。消防署の救命救急講習を職員全員が受講している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に地域のグループホーム連絡会に参加し、勉強会・情報交換・見学会等を行い相互のサービスの質の向上に努めている。ケアマネジャー連絡会との交流もあり情報交換を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所前に本人及び家族に必ず見学してもらっている。また、面談を通して生活歴・性格・本人の意思等を考慮し、円滑な入居生活につなげている。入居後は本人の意思を尊重しながら信頼関係の構築に努めていると共に、家族の協力も得ながら安心して生活ができるように支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者一人一人の人格を尊重すると共に、共同生活を意識して支援を行っている。また、お互いが本音で話ができるような関係づくりに努めている。食事づくり・畑仕事・掃除等の共同作業を通して入居者から教わることも多く職員の学びにつながっている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の一人一人の意向を把握し、希望に沿った支援を行っている。入居者の状態及び状況に応じて筆談の活用や表情の観察により意向を把握・判断している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の意向を確認すると共に、家族や医療関係者等との話し合いを通して介護計画を作成している。作成に当たっては職員全員でカンファレンスを行い、その人らしい生活ができるように内容を検討している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に計画の見直し及び評価を行っており、適切な計画を作成している。また、生活状況に変化があった場合は、その都度見直しの為の検討を行い現状に沿った計画を作成している。</p>		

【千葉県】グループホームすこやかさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ほとんどの入居者の病院受診支援を職員が行っており、家族の負担軽減と入居者の健康管理に努めている。また、入院時においてのお見舞いや経過の確認も行っている。他の施設に転所する場合は、情報交換をしっかりと行い不自由なく安心して生活ができるように支援している。行き付けの美容室等個別に行きたい所がある方の付き添いも積極的に行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族が希望するかかりつけ医または協力病院の受診支援を行っている。受診記録も整備されており、家族への報告もしっかり行っている。また、施設の看護師と併設されているデイサービスの看護師が協力体制をつくり緊急時の対応を行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応については、医師及び家族と相談した上で職員全員で検討している。現在まで看取りを行ったことはないが、医療的対応で問題がなければ行っていく方針である。		重度化や終末期に向けた施設の方針を明文化することを望みます。関係者全体で方針を共有し、最大限の支援ができる体制の構築に期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録などの個人書類については人の目の届かないところに保管している。また、職員全員に守秘義務の周知徹底を図っており個人情報の保護がしっかりとされている。個人の人格を尊重し、その人に合わせた言葉かけを行っている。また、個人的な話については周囲の方には分からないように配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースで自由に過ごしてもらうことを心がけている。日々の生活については、本人の状態や思いに配慮しながら柔軟に支援しており、充実した生活をおくらせている。		

【千葉県】グループホームすこやかさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け・後片付けを職員と共同で行っていると共に、同じテーブルで食事を囲み、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを大切にしている。また、定期的に出前メニューも取り入れて食事が楽しみな時間になるように工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望にあわせて入浴を実施している。入居者の状態に応じて併設しているデイサービスの機械浴槽での入浴も可能である。入浴しない日や夜間に足浴を実施している。拒否や体調不良等により入浴ができない場合は清拭を行い清潔の保持を図っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の希望及び能力や状態に合わせて、歌・体操・作品づくり・書道等バリエーション豊かなレクリエーション活動を行っている。また、併設しているデイサービスの利用者や地域の方々も交えながら、季節に合わせた行事を行い、いきいきとした生活がおくれるように支援している。誕生会も行っており、入居者が共同でケーキをつくり全員で誕生日をお祝いしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	定期的に外出会を企画・実施している。また、天候や体調に合わせて散歩・買物・ドライブ等を実施し、生活及び心身の活性化が図れるように支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関やテラスの出入り口の鍵は開放しており、自由に外を行き来できるようになっている。外に出た際は職員が付き添い安全面に配慮している。居室には鍵は設置していないが、希望により設置することも可能であり、個人のプライバシーへの配慮も行っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と共同で非難訓練及び消化訓練を年2回実施しており災害時の対応を身につけている。運営推進会議においても災害時の対応を話し合っており、地域の協力体制も構築されている。水・米・カンパン等の備蓄もあり、非常時の食料対策も取られている。		

【千葉県】グループホームすこやかさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が献立を作成しており、栄養面に配慮した食事提供がなされている。また、本人の好みや状態に合わせた食事の支援を行っており、栄養の確保に努めている。食事や水分の摂取記録も整備されており、摂取量が少ない方については代替食による対応や医師への相談を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の共有スペースが広く設計されており、開放感がありゆっくりくつろげる空間になっている。また、季節に合わせた装飾や行事等の写真が掲示されており、明るい雰囲気がかもし出されている。床材はコルクタイルを使用しており安全面にも配慮している。敷地内の畑にはベンチや車椅子が通れるスペースもあり、全員が作物の植栽に参加し楽しめるようになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により馴染みのものを持ち込むことが可能であり、居心地よく安心して生活ができるようになっている。希望により畳を敷くことも可能である。全居室にエアコンが設置してあり空調も適切に行われている。入口は広く設計してあり、車椅子の方の出入りも円滑である。洗面台も車椅子の方でも使いやすいように設計されている。各居室の表札は入居者の目線に合わせて設置されており、本人の写真を入れるなどして分かりやすいように工夫をしている。		